

2021年2月吉日

保護者様各位

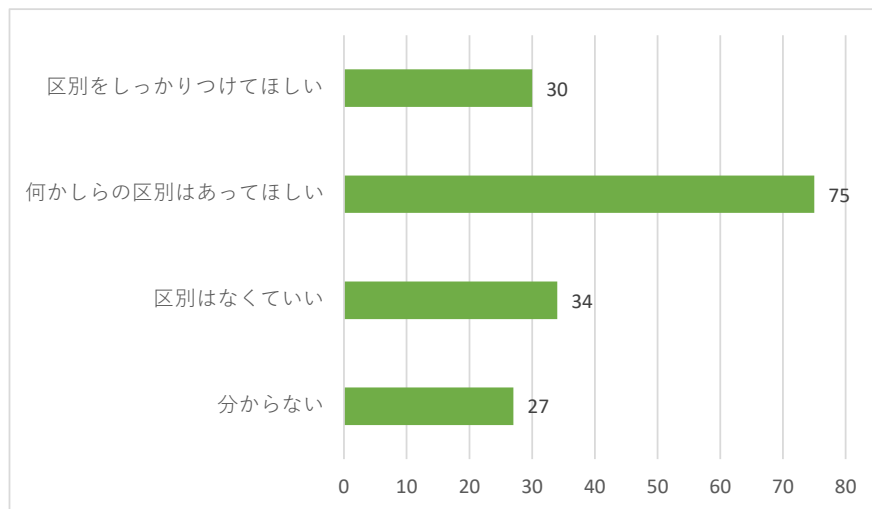
摂津市立別府小学校
PTA会長 柳川 美賀子

PTA活動についてのアンケート報告

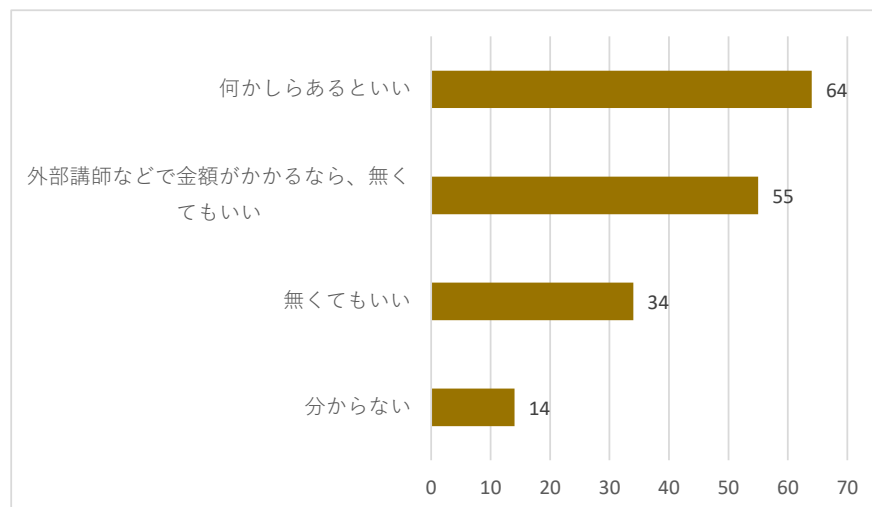
先日、来年度PTA加入世帯の皆様にはPTA活動についてのアンケートを取らせて頂きました。
ご協力いただきました皆様ありがとうございました。
遅くなりましたが、アンケートの集計結果を報告させていただきます。

1.集計結果

【問1】加入・未加入世帯で

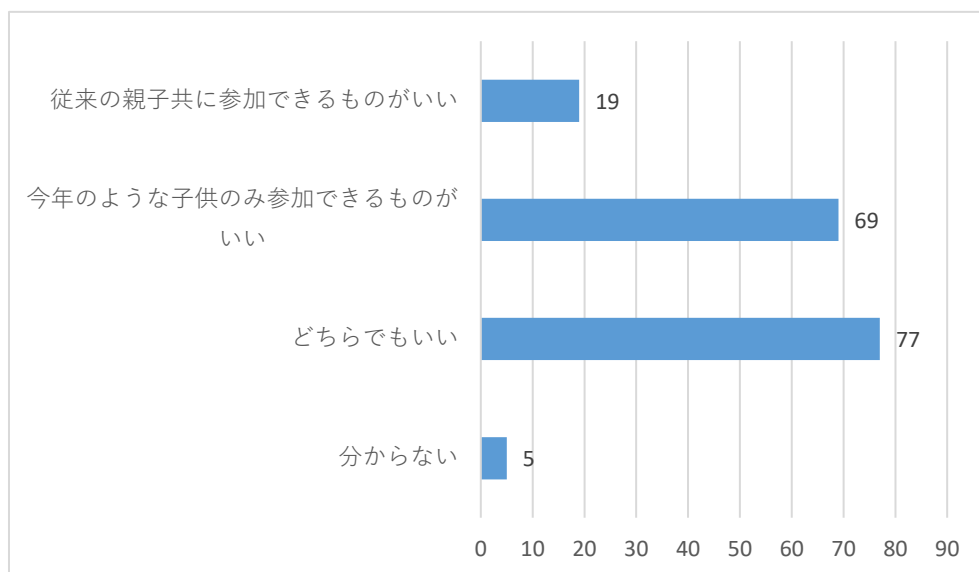


【問2】学年行事の景品について

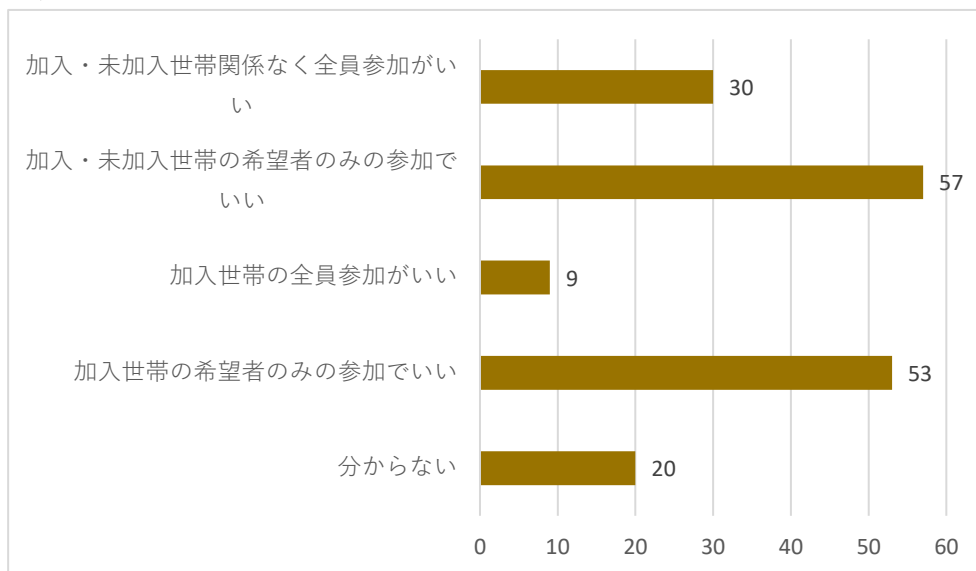


【問3】学年行事について

(その1)



(その2)



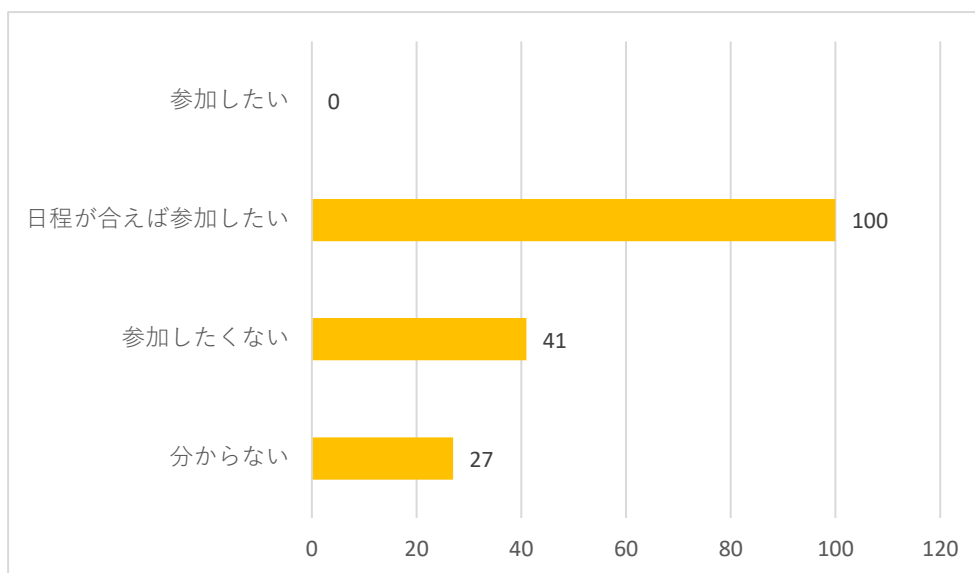
【問4】どのような企画・行事なら参加させたいと思いますか？(複数回答可)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
a.学力向上系	21	19	24	15	17	10
b.運動能力向上系	20	21	29	16	27	10
c.親子ふれあい系	14	14	15	8	15	7
d.保健・道徳系	14	15	21	12	17	4
e.遊び系	18	15	26	18	21	9

f.その他

- ・ワークショップ、劇の鑑賞
- ・講演会(子供が夢や希望を持ち、目標に向かって努力する大切さを学べるような。
例えばスポーツ選手などを招いて)
- ・芸術鑑賞会(観劇、演奏会など)
- ・学年行事は無くてもよい
- ・親睦を深めるようなもの
- ・社会に出て体験して良かったと思う行事(炭で食べ物を焼く、交通安全、防災に関する事)
- ・芸術系

【問5】PTA行事のボランティアについて(学年行事など)



2.皆様からの、ご意見・ご要望に対して回答させていただいています

Q.1(学年行事について)

A. 今年度の学年行事は

- ・コロナ禍の密を避ける。
- ・ご家庭の事情で保護者が参加できなく、その子供が悲しい思いをしないようにする。
- ・コロナ禍で長期休暇があり授業数が大変な中、そこを使わず出来る事。
- ・本部(地区委員含む)とボランティアで出来るもの

を考え相談して行いました。

今回のアンケートに授業で行って欲しいと言う声もありましたが、アンケート結果を見ると希望者のみの参加が多数という事もあり、今年度のような放課後に行う形がいいのかなと思われま

す。また、学年行事は必要がないと言う声があるのも知っていただければと思います。

そして、今年度ボランティアで活動できるようであれば今後、学年委員の選出は行わず本部のみで活動する形をとろうと思ひ、お手紙でもお伝えしていましたが難しかった為、学年委員の選出を行う事としました。

Q.2(加入・未加入の区別について)

A. PTA加入・未加入関係なく子供達には平等にして欲しいと言う声上がる一方で会費と役員選出というところで会員から区別をつけて欲しいと言う声が上がっている事も一つの課題です。

現在、模索中ではありますが案として

- ・学年行事を行う際は加入・未加入関係なく行い参加賞は廃止し、違う形で会員に還元していく。
- ・加入・未加入の希望者の子供のみの行事にし未加入世帯は保護者に必ず出席してもらい、ご自分の子供は見てもらう。
(性教育のような講習会は逆に加入者の保護者のみ参加できる)

また、その他の案も挙がっていますが皆様からも良い案があれば、お聞かせいただければと思います。

Q.3(景品について)

A. 品物か何か違う形としてなのか加入世帯に何かしら還元するよう話し合っていきたいと思ひます。

Q.4(メリット・デメリット)

A. 今年度より、PTAの簡素化へと改革を始めさせていただきました。そしてまだ途中段階にあります。今回のアンケートも本部だけでなく会員の皆様の声を伺い、共に新しいPTAを作っていければと思ひ取らせていただきました。

ただ、今回のアンケートを見て、我が子の通う学校を良くしたいとあるPTAなのですが、凄く他人事のように思っている方が多く見受けられました。

PTAがある事で子供達の安全を守ったり、より良い環境で学校生活を送れるようにしたりと目には見えにくい所での活動も多く、分かりにくいのも当然かも知れませんが大人達から守られているという安心感が子供達のメリットではないかと思ひます。

加入世帯が減り、PTA自体が存続できないとなれば、そういうもの全てがなくなるので、何かしらの影響が出てくるという事がデメリットになるのかと思ひます。

PTAはボランティア団体なのでメリット・デメリットと言うよりは子供達に対しての思いやりと考えたらどうでしょうか？

Q.5(役員はできる人がやればいい)

A. 現状、立候補のみで役員が決まらないのと役員はやりたくないと言う声が多数あるのも事実です。選出も言われているように立候補と抽選で当たったらやってもいいと言う方のみで行うのも新たな試みで良いのかも知れません。

その場合、2～3人しか役員がいらない場合もあり得るでしょう。

少人数での活動になるので何をどうするか決定権は役員をしてくれる方に委ねて、会員の方々は敬意を持って、それに賛同すればできるかもしれません。

そして立候補者がいない場合は、PTA活動の停止もあり得るという事を我々は、どう考えるのかも必要かと思われます。現状、規約がある為、すぐに出来ないこともご理解いただければ幸いです。

Q.6(形を変えても何か行事をして欲しい)

A. 今年度はコロナ禍で企画を考えても開催できずでしたが、新しい形では行っていきたいと思います。

ただ、コロナが蔓延している現状では大人数での行事ごとは、まだまだ難しいですが・・・

Q.7(学校への問い合わせについて)

A. 基本的に個人的な問題は、直接クラス担任など先生に相談された方が良いかと思います。

ただ、学校の体質・環境など、より良く改善したい点があればPTAとして学校や市に働きかけて問題の改善に努めさせてもらえるかと思っています。

Q.8(ボランティアの不足で地区委員さんが動員され負担が大きかったのでは)

A. 今年度はコロナ禍もあり学級委員さんを選出せず、今後ボランティアで行事が円滑に行えるかのお試しの一年でもありました。

コロナ禍で、中々PTA活動もできず、PTAまつり・バザー(景品集め含む)・会議も本部のみと全て中止となり、その代わりにボランティアの不足の時は、お手伝いをして欲しいと地区委員長さんをお願いし承して頂いたうえで、1年生・2年生の学年行事、全ての日程から地区さん一人に一日ずつ協力していただきました。

それが負担と思われたのなら大変申し訳ありませんでした。

ただ、学校やPTAからボランティアのお願いがあった時は、委員以外の皆さんもご協力いただければ子供達にとっても、より良い活動にはなっていると思っています。

Q.9(規約改正など、やり方が強引、会長の意見がゴリ押しな印象で暴走にならないかと思う)

A. 会長の一人走りではありません。改正についても役員と先生間で規約内容など話し合い総会で決定した旨です。今回は、コロナ禍という事でしたが、総会も開催し議決されました。もちろん総会に参加し意見して頂き反対して頂くことも可能です。

また、一緒に役員をして頂き、その場で案を出し一緒にPTAを作っていく方法もあります。

Q.10(PTAまつり・バザーの廃止で収入減を大幅に減らすこととなり、今までのような活動を維持する事が難しくなった。又、サークル活動の援助金も廃止された事で、各サークルの月額を上げざるを得なくなった。提案ではなく決定として知らされるのは納得できない。)

予 算	前年度	今年度	差 額
会 費	1,682,400	1,303,200	▲379,200

	サークルさんへの援助金	PTAまつりの売り上げ
2017年度	30,000 × 8 = 240,000	99,290
2018年度	30,000 × 8 = 240,000	3,050
2019年度	20,000 × 8 = 160,000	25,878

A. PTAまつりの廃止は昨今、同意書を取らなければならないという話が出たときに会員数が絶対的に減ると予想したのと、会費の減額による予算の収拾がつかないという事もあり廃止の話が進みました。サークルさんへの援助金につきましては子供のサークルさん大人のサークルさんとあり、同意書を取る事で未加入の方が大人のサークルさんで活動をされる場合がある事を踏まえると、そこにPTA会費から援助金を出すのは難しくなります。

また、PTAまつりの収支も援助金には到底及ぶものではないのを上の表を見ていただければ、ご理解いただけるかと思います。

そして、援助金の廃止につきましても同意書の話が出たときにサークルの代表者様には『いづれなくなる』という話は伝えられていました。

援助金の廃止でサークルさんには、ご迷惑をおかけする事は分かっていたのですが、これらの事を踏まえ、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

もし、援助金が無くサークル活動が大変と言われるのならサークルさんでサークル祭りなるものを行っていただけると、子供達も喜ぶと思いますし、その収入をサークル活動の資金にしていただけたらどうでしょうか？

今までPTAまつりで使っていた備品は言っていいただければお貸しすることも可能です。

Q.11(PTAは学校のサポートの位置付けとして存在しているを理解し、先生の負担と先生のPTA加入の廃止の要望について。)※保護者から

A. まず、戦後の歴史としてPTAは「父母と先生の会」として作られました。

「父母と先生は児童の健全な成長を図ることを目的とし、お互いの協力者として存在しております。保護者と教職員とが協力して教育の振興に努め、児童の生活指導・教育環境の改善、充実を図るために会員相互の学習、その他必要な活動を行う団体である。」という事です。

また今年度、改革の中で先生の負担も減らすため、会議も本部のみで行い、その前後で先生にもご意見をいただくようにしたり、学年行事も先生不在で良いとしました。

実際、先生はどんな事をするのか、子供達の様子も見たいとご自分の仕事をしながら教室におられ感想として「学校ではしないプリントで楽しそうで、すごく集中している子供達を見る事ができた」と話されていました。

別府小の先生の声としては「先生のみだと公務員の仕事としての意見しか出ないが、一番子供に近い保護者の言葉を聞けるのはPTAがある最大のメリットです。」と言うお話もいただきました。

もちろん先生のPTA加入・未加入も別府小では自由です。